

古河機械金属グループ サステナビリティへの取り組みに関する基本方針

2021年12月1日施行

古河機械金属グループは、サステナビリティ^{※1}への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置づけ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、成長に向けた経営基盤の整備および事業を通じた「社会課題」の解決により、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現していきます。

この基本方針を具現化するための取り組みは、下記のとおりです。

記

1. 「守り」のサステナビリティ： 成長に向けた経営基盤の整備

成長に向けた経営基盤の整備のため、全社的リスクマネジメント体制^{※2}を強化・拡充し、「当社グループの CSR/ESG 課題に配慮した事業運営の実践による企業価値の向上」を図っていきます。

2. 「攻め」のサステナビリティ： 事業を通じた「社会課題」の解決

CSV^{※3}の視点を織り込んだ「マーケティング経営」による古河ブランドの価値向上を図っていくとともに、「社会課題」の解決に役立つインフラ整備、製品・技術・サービスなどを提供することで、「企業価値」を創造すると同時に「社会価値」の創造に寄与していきます。

※1 サステナビリティ (Sustainability) : 持続可能性のこと。一般的には、広く環境・社会・経済の3つの観点からこの世の中を持続可能にしていくという考え方のことをいいます。特に、企業には事業活動を通じて環境・社会・経済に与える影響を考慮し、中長期的な企業戦略を立てていく取り組みが求められています。

※2 全社的リスクマネジメント体制 : リスクマネジメント (危機管理) の手法の一つで、企業を経営するうえで起こり得るあらゆるリスクに対し、全社的に管理しようとする体制のことです。

※3 CSV (Creating Shared Value : 共通価値/共有価値の創造) : 企業が社会問題や環境問題などに関わる社会課題に取り組み、社会価値と企業価値を両立させようとする経営フレームワークです。

以 上